

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用される方が安心して過ごせる施設環境の維持管理	○	定期点検、修繕対応等が正確に実施されている。
2. 職員が安心して働ける職場環境の維持管理	△	仕組みとして確立されたものがないのが、今後の課題
3. 官公庁や取引先等外部との良好な関係を保ち円滑な法人運営を図る	△	取引先との関係性は良好だが、官公庁との連携は不足していると感じる。
4. 総務課全員の更なるレベルアップを目指す	△	委託先の税理士や社労士の協力を受け、知識の深化を目指している。
5. 経費削減や節約、省エネルギーを常に心がける	○	燃料等の高騰が見られたが、許容出来る範囲で運営できた。
実行方針	結果	備 考
1. 非常災害等の発生に柔軟に対応できるよう、各施設の備品や備蓄資材品を確保し、管理する。	△	各施設の備品状況の把握が出来ていない。
2. 求人広報活動を促進し、入職者の増加を目指す。また、新たな求人活動の方法を模索する。 離職事由を分析し、環境を改善することで人材の定着を目指す。	○	新たにミャンマーから4名、ネパールから2名技能人材が入職した。
3. 各々が担当分野を拡大できるよう、業務についての理解を深め、スキル向上に努める。	△	業務の可視化、情報共有が不足していると感じた。
4. 各種規程をはじめ、法令や制度等を熟知し、各事業を支援できるよう努める。	△	委託先の税理士や社労士の協力を受け、知識の深化を目指している。
5. 無駄のない備品・物品購入と必要に応じ相見積を行い、経費節約を日頃から心掛ける。	○	必要な物品を購入することに意識付けができるようになった。
定量的な目標	結果	備 考
各事業が定量的な目標を達成できるよう支援する。	△	総務課管理を中心に各事業所へのフォロー体制が整いつつある。
定性的な目標	結果	備 考
各事業がスムーズ且つ効果的に業務を遂行できるよう支援する。	△	総務課業務を標準化し、合理化を進めている。

令和7年度 事業報告

部門名:業務課

結果凡例:◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. ユニットケアにおけるその人らしい生活が継続できるように、環境を見直し、必要物品を補充します。	○	入所者の生活の質の向上に資するべく、1階全居室を多床室からユニット型個室に改修し、プライバシーの確保など環境改善を行った。
2. 一人一人の思いや気持ちを大切にし、個別ケアの実施に努めます。	○	入所時のアセスメントや家族への情報確認を介護リーダーと協力して行い、支援計画に反映することができた。また、毎朝の申し送り、担当者会議やユニット会議を通し、職種間の情報共有に努めた。
3. 自分らしく暮らし続けることができるよう一人一人の生活習慣に沿った日常生活援助を提供します。 科学的な根拠のある基礎介護の向上を目指します。	○	入所時等の本人、家族からのアセスメントを通し、入所後も希望に添える支援に繋がるよう努めた。LIFEの取り組みの定着にも繋がった。
4. 住み慣れた地域とのつながりを大切にし、生きがいを持って生活が継続できるようお手伝いします。	○	定期的な運営推進会議の開催や町内会行事、介護学習に関する実習の受入、交流行事などの取り組みを行い、地域との繋がりを深めることができた。
5. 目標に向けた入所者の稼働率の安定、短期入所の利用者の確保、利用維持に努めます。 必要な職員採用、育成を図り、定着して働きやすい職場づくりに努めます。	△	特養については、年間延べ入院日数 1,040日(平均 2.8人/月)、短期入所については、月平均 8.6人の利用状況だった。 特定技能外国人の定着を図ると共に、新たに採用を行った。
実行方針	結果	備 考
1. 基礎介護の向上を図るため外部研修、他施設との交流見学、内部研修会等、学ぶ機会を作ります。 必要な介護備品、入居者の方の施設生活での娯楽につながる備品の整備、購入を行います。 ICTの導入に向けて、導入チームの構築、介護・看護記録の電子化、実用の定着を2か年計画で行っていきます。	○	介護、看護における備品の整備、購入は概ね計画予定どおり行った。ユニットリーダー研修、介護福祉士実習指導者などの資格取得や介護、看護ともに外部研修へ派遣した。ICTの導入については、次年度も継続して検討する。
2. 施設介護計画に基づいたサービス提供を目指し、多職種間での情報の共有、統一した介護の提供に努めます。	○	サービス担当者会議の定期開催や毎朝の申し送り体制を通し、情報共有、他職種連携を推進した。
3. ダブルチェック体制の構築からケースカンファレンスの取組を目指し、体調不良への早期発見・迅速な医療連携を取れるよう努めます。 科学的な根拠のある介護の取組の実現に向け、加算算定に対する検証、取り組みを行います。	△	介護・看護間の連携を進め、利用者の体調不良時等は早期に医療機関との連携に繋げることができた。 ケースカンファレンスの実施や協議には至らなかった。 今後、職員の基礎介護力の向上に繋がる研修等の取り組みを検討する。
4. 様々な感染症への予防対策を考慮しながら、地域行事や会議等への参加・交流を図ります。 面会や家族参加行事など、感染症を考慮しながら気軽に立ち寄れる体制構築を図ります。 介護実習等の受け入れを通じ、地域の福祉に対する学びの場へ貢献します。	○	継続して、網走神社祭や地域の幼稚園との交流行事、町内会との関わり等の取り組みを行った。東農大の介護等体験実習や日体大附属高等支援学校との職場体験実習、介護福祉士養成校の実習受入等、積極的に学びの場を提供した。
5. 退所後のスムーズな新規入所につなげるよう10日以内を目標に取り組みます。 新任職員の育成計画を立て、それに沿った研修を実施します。 必要な資格取得やネクストリーダーの育成について年間研修計画に基づいて実施します。 海外の人材など、必要な職種へのスムーズな受け入れ、定着に努めます。	△	年間退所者 22名、空所日数 530日だった。前年度と比べ、退所者が7名多い。10月～1月の間、退所に繋がる入院ケースが重なったことが要因として考えられる。
定量的な目標	結果	備 考
① 入所の年間稼働率95%(広域型17,338名、地域密着型6,935名年間24,273名)を目指します。	△	93.8%と目標に及ばなかった。 10～1月にかけ、季節の変わり目に起因して入所者の体調不良が増え、入院や退所が重なったことで可動率が低下した。
② 短期入所の年間稼働率95%(月平均 3,468名)を目指します。	△	目標より下回った。 2月に実施した1階全居室のユニット型個室化工事に伴い、居室の代部屋確保のため、工事期間中短期入所の受け入れを限定したためと考えられる。
定性的な目標	結果	備 考
① 入所70床、短期入所10床を稼働していくにあたっての人材確保に努めます。	○	前年度入職した特定技能の職員は、安定して勤務し、夜勤を含めた変則勤務に従事している。今年度、新たにミャンマーから4名を特定技能外国人材として採用した。
② なないろ館を利用されるご利用者・ご家族に、安心感・満足感を提供できるサービスを目指します。	○	面会や外出・外泊について、柔軟に対応し、入所後の本人と家族との関係維持に繋がった。今後も気軽に相談、要望をいただける施設運営を行う。

令和7年度 事業報告

部門名： 給食業務

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者の状態に合わせ、安心・安全な食事を提供します。	◎	米飯の硬さ、副食のきざみ等、調節区別を実施。
2. 利用者に満足していただける食事の工夫をします。	○	物価高騰している中で、利用者の希望に添えるよう努力している。
3. 最後のときまで口から栄養を摂り、食事を楽しむ工夫をします。	◎	利用者の希望に添えるよう努力している。
4. 旬の食材や、地元食材の使用を心がけます。	○	旬の食材を使用した献立の実施に努力している。
5. 安価で良質な食材を無駄なく使用します。	○	物価値上がりの商品が多くあった。
実行方針	結果	備 考
1. 多職種と連携を図り、利用者の栄養状態、口腔機能を把握し、一人一人に合った食形態や、量での食事提供を目指します。	○	食事時の巡回などを通じて、多職種と連携図り、利用者個別に応じた食形態で食事提供できた。
2. 味・彩り・温度・盛り付けに気を配り、質の高い食事を目指します。	◎	委託会社と協力し、今後も努力する。
3. 研修会などに積極的に参加し、情報収集と周知を行います。	○	書面や会議等で周知する。
4. 行事食などで季節を感じられる食事提供を目指します。	○	行事食には可能な範囲で取り入れることができた。
5. 購入計画や見積もりなどをこまめに行い、無駄をなくすよう心がけます。	◎	今後も努力する。
定量的な目標	結果	備 考
(1) 利用者の現在の機能で美味しい食事ができるように、月1回以上のミールラウンドを実施し、その結果を食事に反映できるよう努力します。	○	なないろ館定期的の実施、サテライトは月1度実施。現在の頻度を維持しつつデイサービスにも力を入れていきたい。
定性的な目標	結果	備 考
(1) 季節を感じられる行事食イベントを計画実行できるよう努力します。	○	委託会社と協力し、今後も努力する。
(2) 現在の食形態について、硬さや形状を見直し、安全に摂取できるよう努力します。	○	なないろ館のソフト食、水分のトロミについて見直ししていく。
(3) 調理備品や食器を整備した上で衛生管理を徹底し、食中毒を予防します。	○	デイサービス配送用の備品を整備。今後も衛生管理を徹底していく。

令和7年度 事業報告

部門名： 大曲レインボーハイツ

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 入居者様が安心できる日常生活が送れるよう環境整備の改善を取り組めます。	○	1、2丁目ユニットにエアコン設置を行い、環境整備に取り組んだ。
2. その人らしく自立した日常生活を営むことが出来るよう支援します。	○	一人ひとりの情報を共有し合い、理解し、それに伴った支援が出来た。
3. 一人一人に寄り添いながら体調の変化に留意し、安定した体調で過ごしていただけるよう支援します。	△	体調の変化には留意していたが、体調不良者が出た。
4. 大曲地区との連携を継続し、地域活動に参加することで地域に役立てる施設とします。	×	職員不足などあり、地域活動にほとんど参加できなかった。
5. 職員の定着化、離職を減らし継続の雇用。入居稼働率の安定。	×	入院者数がかかなり多く、安定した稼働率に出来なかった。
実行方針	結果	備 考
1. 胃ろう、寝たきりの利用者様増加、施設の老朽化に伴い、介護器具の見直し(フルリクタイプの車椅子購入、2丁目南側非常階段修繕等)	×	介護器具の見直しが出来なかった。
2. 会議等で出来る事を少しでも続けられるようケアを統一し、利用者本位のケアを行う。	△	会議が前年度より少なく、統一したケアがあまりできなかった。
3. 日々の体調の変化を見逃さないよう介護、看護職員の連携を密に行い、重症化、長期入院を防ぐ。	×	長期入院者を多く出してしまった。
4. 感染症の状況を踏まえたうえで、地域行事や会議に参加し地域交流を図る。	×	地域行事会議の参加が出来なかった。
5. ユニット間だけでなく、大曲全体の良い雰囲気作りに務める。早期通院、治療を行い、長期入院を防ぐ。	×	全体的に雰囲気が良くなり、ユニット間で分裂化してしまっていた。
定量的な目標	結果	備 考
月平均28人 稼働率95%	×	満床体制に出来ず、月平均22人 稼働率77.3%だった。
定性的な目標	結果	備 考
大曲ならではのアットホームな雰囲気の中で、利用者様、ご家族が安心できるサービスを提供。	△	あまり大曲全体の雰囲気が良くなかった。
利用者様、ご家族様、地域の方々と良い関係を築き、開かれた施設運営を行う。職員の定着化、離職を減らす。	△	地域との交流はほとんどできなかったが、面会の回数が増え、家族とは良い関係が築けたが、職員の定着化はできなかった。

令和7年度 事業報告

部門名: 向陽ヶ丘レインボーハイツ

結果凡例: ◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者が安心して楽しく過ごす事ができるような環境づくりを行います。	○	行事や特別食などを通し、利用者さんが楽しみを持てる生活環境を提供できた。
2. 利用者の意思を尊重し、個人個人に合わせたケアを行います。	○	個人の状態に合わせ、適切なケアが出来るように努め、実践できた。
3. 研修や資格の取得のサポートなど学ぶ機会を作り、職員のスキルアップを図ります。	○	研修など学ぶ機会を作り、職員のスキルアップや見直しの機会を作ることができた。
4. 地域や外部の方との交流機会を作っていきます。	×	自治会の参加はできたが、それ以外の地域との交流機会は作ることが出来なかった。
5. 入所稼働97%の維持に努めます。小規模多機能の登録確保に努めます。	△	入所の稼働は97.2%と目標を達成できたが、小規模の登録確保については、新規登録も2名ほどできたが、ご逝去の為、登録廃止や入所への以降などで全体的な登録数は減少となった。
実行方針		
1. 施設行事の充実を図り、楽しみを持てる生活を送れるように努めます。浴室の改装、特殊浴槽の導入を補助金を使い検討し、安心、安全な入浴環境を整えます。老朽化したテーブルや椅子の入れ替えを行います。	△	施設行事等はほぼ毎月行うことができ、利用者の楽しみに繋げることができていた。浴室の改装は補助金等の関係で来年度申請を行う。他備品の購入も十分とはいかなかった。
2. 利用者個人の状態や意思に合わせた個別ケアを行います。	○	個別ケアを行うことで、個々の状態に対応し、入院者の減少に繋げることができた。
3. 各種、研修の実施、参加。資格取得へのサポート体制の構築を図ります。	○	身体拘束、虐待、感染対策等の研修は定期的に行い、職員のスキルアップに繋げることが出来ていた。また、介護福祉士の資格取得者や外国人技能実習生の基礎研修など、資格取得にも繋げることができた。
4. 地域行事への参加、ボランティアや慰問の受け入れを積極的に行います。	×	地域行事がなく、参加はできなかった。ボランティアや慰問も今年度は受け入れはできなかったが、来年度初めに慰問の受け入れの準備はできている。
5. ダブルチェックなどで体調不良者を早期発見し、入院を未然に防ぎます。退所者が出た場合は、10日以内に新規入所確保できるよう努めます。居宅介護支援事業者と連携し、小規模多機能の利用登録確保に努めます。	○	体調不良者が出た場合は、状況に応じて早めの受診を行い、入院に至る前に快復につなげることができた。退所者が出た後も概ね10日程度で、新規入所を行うことができた。小規模多機能の方は利用者の確保に難航している。
定量的な目標	結果	備 考
特養: 稼働率97%以上、総入院日数、空所数を年間197日以下を目標に取り組みます。	◎	令和7年度、稼働率97.2%、総入院149日、総空所数185日とそれぞれ目標を達成できた。
小規模多機能: 登録人数 年間平均6人、登録利用人数7人以上を目標とします。	×	年間で2名の新規登録者をいれることができたが、登録廃止者が4名にもなり、登録数の増加は出来なかった。
定性的な目標	結果	備 考
向陽ヶ丘レインボーハイツだからこそできる、食事の充実や家庭的な雰囲気大切に、魅力的な施設作りを目指します。	○	特養、小規模共に特性を活かし、個別のケアや行事、食の充実等、向陽ヶ丘独自の施設づくりに取り組んでいた。

令和7年度 事業報告

部門名:養護老人ホーム ふれあい館

結果凡例:◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 心あたたかに心のふれあいを感じられる日常生活が継続できる暮らしの場を目指します	○	その人らしく生活が継続できるよう暮らしの場を提供できた。
2. 入居者の尊厳を護り、自立できる環境を整え、自立を支えられる職員育成を行い、日々の生活に繋がります	△	利用者の思いに寄り添いながら少しでも自立した生活が継続できるよう環境整備を行った。
3. 毎日の生活の中で、ひとり一人の過去の生活を踏まえ、生活スタイルを尊重して生活を続けられる施設を目指します	○	その人の誕生日に外食もしくは出前等で食べたいもの・好きなものを食していただき満足していただけるよう食レクを開催した。
4. 大曲の地域住民の一員として、地域住民の役割を継続しながら、地域社会への貢献に努めます	○	地域住民活動を継続することができた。
5. 物価高騰は避けられず、収益に上限がある為、使用物品の見直しを行い、他商品への切り替えなどコスト見直しを行います また、経年劣化を迎える備品の整備や交換を計画的に進め、必要な修繕・必要物品の購入を実施していきます	○	介護用品(紙おむつ等)のコストを見直し低価格の物を見直したことで経費削減することができた。必要な修繕・物品等の購入も最小限にとどめることができた。
実行方針	結果	備 考
1. 日々の生活の中で、心境の変化や体調の変化など、細かな観察と記録をし根拠に基づいた対応をします	○	早期受診を実施し昨年度より入院者の大幅な削減ができた。
2. 入居者の生活を支える為、それぞれの職種で必要な施設内・外研修に参加し学習を深め実践に生かします	△	多職種の外部研修の参加はできた。
3. 現行の記録システムを最大限活用し、日々の生活状況、身体状況・精神状況等、必要な情報の有効性を振り返ります	△	利用者の状況や職員からの情報等を生かしながら状態の把握に努めた。
4. 大曲地域で行われる行事等に参加し、暮らしやすい地域づくりを継続します	○	西地区値域活動推進協議会・高齢者部会等に参加し地域の取組等の協議会に参加した。
5. 更新期限のあるPCやソフトを購入・更新します。修繕は計画的に整備を進めます。給食費などの委託費についても協議を重ねます	○	PC3台更新。ワイズマンソフトの一部更新。給食費の委託費は検討中。
定量的な目標	結果	備 考
一般入居者20名での年間稼働率 95%(年間6,990人)、特定30名での年間稼働率を94%(年間10,293人)	○	一般:97%(年間7,079人) 特定:92.2%(年間10,099人)
全体的な稼働率94.7%(年間17,283人) 入院及び入居までの空床(967人、1日2.6人)	○	全体的稼働率:94.3%(年間17,178人) 入院::568人 空床:504人 合計:1,072人
定性的な目標	結果	備 考
・体調不良などの早期発見・早期対応を心掛け、長期入院につながる転倒・骨折などが起きにくいように環境整備を整えます	○	昨年より入院者を274人減らすことができた。
・空床削減の為、新規入所のスムーズな受け入れを進めるため、市町村及び在宅介護支援センターなどへの情報共有を図ります	△	市町村及び地域包括支援センターなどへの情報共有はできていたが、空床数は昨年度とさほど変わらない結果となった。
・長期雇用継続に向け、業務負担の重い、15時間拘束、2名体制(30名:1名、20名:1名)の夜勤業務の負担軽減を図る為、夜勤3名体制を実施し、年齢・経験年数に対し、精神的・体力的不安なく行える夜勤業務確立を目指します	○	1人体制の夜勤は難しくても、2人体制で夜勤することで夜勤に従事できるようになった職員が2名。今後も業務負担軽減を図るため、全体で夜勤3名体制の日を数日設けていく。

令和7年度 事業報告

部門名： 網走レインボーハイツ デイサービスセンター

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者、職員ともに笑顔をつかち合えるデイサービスを目指していきます。	○	職員の人数が増えた事により、ゆとりも出来、笑顔で過ごせていたと感じました。
2. 人生の先輩を敬う気持ちで「心」のあるサービスを提供します。	○	親切・丁寧なサービスを実施できるよう声掛け1つ1つにも気を配りながら対応させて頂きました。
3. 毎日の生活を生きがいを持って楽しく過ごせるように支援を行ないます。	○	在宅生活ができるよう、日常における困りごとをケアマネとも情報共有しサービスが提供出来るようにしてきました。
4. 地域との交流を大切にし、地域の特色に目指したサービスを行なっていきます。	○	網走の四季を感じられる様、外出する場所を変えていきました。
5. より多くの利用者がデイサービスを利用して頂けるように、サービスの向上を目指します。	○	職員増員に伴い、個別レクの対応、特浴目的の利用者受け入れが可能になりました。
実行方針	結果	備 考
1. ニーズに沿った通所介護計画の作成、実施、モニタリング、評価を行います。	○	通所介護計画書の作成、実施、評価を確実にこなしています。
2. 人生の先輩を敬う気持ちで「心」のあるサービスを提供します。利用者様の「やりたいこと」「必要なこと」をお手伝いできるデイサービスを目指します。	○	利用者の求めている物を職員みんなで情報を共有し、サービスに偏りが無いよう対応しています。
3. プログラムの多様化、行事の充実化を図り、楽しく通える場所を作ります。	○	室内レク・外出レク共に、充実したものになりました。
4. 網走の文化、季節を感じられるようにボランティア、市などの各関係機関と連携を行います。	△	外部の関係者などの交流は実施できませんでした。
5. 新たな利用に繋がられるよう、地域のケアマネジャーと連携を図る。	○	デイ通信を通じて、デイでの様子を写真を使って共有。また、曜日別受入表も記載し空き情報を分かるようにして新規に繋げている。
定量的な目標	結果	備 考
年間実績数 7,000件、月585件、一日平均23.0件を目指します。	△	年 5,663件（前年比 -999） 月平均 471人（前年比 -84）
定性的な目標	結果	備 考
・施設内・外の勉強会、研修を通し、スタッフが知識をもってケアに臨むことができるようにします。	×	外部の研修は行なっていません。
・気持ちよく利用が出来るように掃除、整理整頓にて環境整備を行なっていきます。	○	感染対策の為、定期的に換気、施設内、車内の消毒。施設内整理整頓を実施しています。

令和7年度 事業報告

部門名: レインボーハイツ あいむデイサービスセンター

結果凡例: ◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 個々に必要なサービスを安定して受けられる場を提供します。	○	入浴や体操・送迎など、安全面を考慮しながら個々のサービスに対応することができました。
2. 利用者様の大切にしている生活を共有し、利用者様らしく生活ができるように努めます。	○	ご本人やご家族、ケアマネージャーと連携を図りながら、健康や生活状況などを把握し、支援することができました。
3. レクリエーションや行事を通じ、楽しく有意義な時間を過ごせるように努めます。	○	壁飾り作りやDVDを活かした体操など、利用者様に寄り添ったレクリエーションを行ない、敬老会やクリスマス会を通して、笑顔で喜ばれる環境作りをすることができました。
4. 地域との交流を大切にし、地域から必要とされるデイサービスを目指します。	○	ドライブや買い物レクリエーションを通じて、地域との交流を感じ得ることができました。8月のお祭りや七福神祭りに、参加することができました。
5. 利用定員を意識しながら、稼働率の安定を図ります。	○	新規利用の希望を断わらないよう努め、稼働率を維持することができました。
実行方針	結果	備 考
1. 利用者、ご家族のニーズに沿ったケアを実地し、共に楽しく過ごす事のできるデイサービスを提供します。	○	来所されるのが楽しいと思える環境作りができました。
2. 個々のケアを充実し、利用者様の「やりたいこと」を実行できるデイサービスを目指します。	△	ネット手芸や手仕事、外出を望まれる利用者様に対し、提供することができましたが、カラオケを望まれる利用者様には感染症対策の為、お断りをしました。
3. 外出、体操、創作活動等のプログラムの多様化を進め、楽しく参加できる場所を作ります。	○	外出レクを通じて、気分転換や様々な刺激を与えることができました。職員が考案したレクリエーションや創作活動に楽しく参加され、下肢運動を取り入れることで、浮腫み対策を行なっています。
4. 地域のイベント、行事への参加等、季節を感じられる取組みを行ないます。	○	買い物やドライブを通じて、季節の食材や景色を感じて頂くことができました。七福神祭りでは、猿回しを近くで見学することができました。
5. サービスの質を上げることを意識して業務を進めていきます。	△	業務指導を行なっていますが、改善はされていません。利用者様に満足して頂けるよう、サービスの質を上げていきます。
定量的な目標	結果	備 考
年間実績数 6,760件、月563件、一日平均19件を目指します。	◎	延べ利用者数は7,162件、月平均596件、1日平均利用者数19.9件で目標に達することができました。
定性的な目標		
人生の先輩である利用者様に敬意を持った対応を行ないます。	△	利用者様との距離感が近すぎることがあり、言動に配慮が欠けることがありました。
施設内・外の勉強会、研修を通し、スタッフが知識を持ってケアに臨むことができるようにします。	△	必須の研修を行なったり、デイ会議等でケアのやり方について話し合いましたが、全員が理解するには至っていません。

令和7年度 事業報告

部門名： 網走レインボーハイツ 在宅介護支援センター

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者、家族への「丁寧な」対応と「やすらぎと安心感」を提供する姿勢	○	傾聴姿勢は崩さずに利用者・家族へ安心感を提供した。
2. 利用者のサービス管理から健康管理、生活機能向上へ向けた管理	△	常に念頭において実施した。
3. 高齢者の状態変化への対応強化（認知症・中重度高齢者）	○	状態変化を見逃さず、随時対応している（サービス量、区分変更等）。
4. 医療との連携	○	医療職（医師、看護師、リハビリ職、薬剤師等）連携を図った。
5. 新規依頼は断らない。要介護のみならず要支援、事業対象者もマネジメントする	◎	困難事例も含めて断らず、他事業所からのケースも引き継ぎ、積極的にマネジメントを行った。
実行方針	結果	備 考
1. 技術、重度化対応知識の習得（ソーシャルワーク＋ケアワーク）	△	ケアワークについての学びの機会が少なかった。
2. サービス提供ネットワーク内での利用者の健康情報の共有と予後予測の習得	○	健康情報と予後について常に検討した。
3. 医療と介護の連携（多職種協働）による認知症、中重度高齢者マネジメント、生活機能向上	○	入院時の情報提供や、診察同行し主治医と協働した。
4. ケアマネ自身も支援者になる	○	ケアマネ自身、支援者になり利用者へのサポートを行った。
5. 予防および総合事業への対応継続	◎	両地域包括支援センターより、積極的にマネジメントAおよびBの委託を受けた。
定量的な目標	結果	備 考
1. ケアマネ5名体制（管理者含む）。特定事業所加算Ⅱ算定。その他加算の算定検討	○	5名体制を維持し、特定事業所加算Ⅱ算定。初回加算を算定している。
2. 年間1,740件利用（介護給付）改正にて担当件数増になるが、業務負担にならない程度の件数にする	△	8月末に1名退職したことで新規の件数制限もあり総計1,611件（介護給付）の実績だった。
定性的な目標	結果	備 考
1. 5名体制でのチームワークづくりとフォロー体制の構築。地域問題への対応。	○	8月に1名退職し4名体制となった（退職約2ヶ月前に報告を受けたものの年給消化もあり実質1ヶ月で引継ぎ）が1月に経験者が採用となる。
2. 担当者が不在でも相談できる対応システム	○	退職されたケアマネの引継ぎはスムーズとは言えるものではなかったが、引継ぎ後の利用者や家族との問題はない。

令和7年度 事業報告

部門名： 網走レインボーハイツ ホームヘルパー派遣センター

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
利用者に「助かっている、安心している」と、感じていただけるような、サービスと笑顔を提供します。	△	ヘルパー一人ひとりが、努力を続けています。相談しながら、より良い方法を考えています。
利用者が「ご自分で判断、決定して行くこと」ができるように、説明・助言します。	○	限られた訪問時間の中で、できるだけ、質問される様々な事の説明を行っています。わからない事は持ち帰り確認しています。
利用者が困ることなく生活できるように、温かく、細かく、情報提供できるヘルパーを目指します。	○	利用者だけではなく、ご家族にも、的確な情報提供ができるよう、心がけました。
ご家族、町内会、援助者、介護保険担当者等との繋がりを大切にする気持ちを見守ります。	○	ご家族、介護保険支援者同志では、情報共有し、より良い方法を考えました。
利用者のからだ、気持ち、環境の変化に応じた、適切なサービスにより、利用者数を維持します。	○	ヘルパー減により、利用者数は増やせなかったが、利用者一人ひとりの訪問回数や援助内容が増えたり、その変化に対応しました。
実行方針	結果	備 考
利用者の希望を満たす、過不足のないサービスを目指します。	△	利用者の希望と、介護計画が違う場面では、ヘルパーとして見聞きした情報を伝えました。
利用者が、意思決定する場面を意識しながら、サービスを提供して行きます。	○	デイサービスを増やす、施設入所を決める等、思いを、良くお聞きしました。
ヘルパーは、利用者にとって、気楽に、安心して相談できる援助者、聞き役になります。	○	利用者の心を最も理解しているのは、ヘルパーだと自覚を持ち、相談を受けています。
対話を大切にし、ひきこもりがちにならないよう、話題を見つけ、声がけし、見守ります。	○	家事援助中の時間でも、穏やかな時間を持つていただけるよう、傾聴する姿勢で接します。
利用者の変化を、素早く感じ取れ、多職種援助者との連携をとれるヘルパーを目指します。	○	体調の変化や、家族状況の変化等、知り得た情報は、ケアマネジャーをはじめ、訪問看護師とも情報交換しました。
定量的な目標	結果	備 考
年間 840件 5,400回	△	実績763件、4,763回の訪問 9人のヘルパーのうち、1月から1人が負傷休職となり8人で訪問中
定性的な目標	結果	備 考
職員の健康管理(感染対策の徹底・仕事上のストレス緩和)、働きやすい体制を整え、やりがいのある仕事を、長く続けられるように、協力し合います。	○	退職者1名ありましたが、同じメンバーで1年間、働くことができました。仕事上の悩みは、相談し合い、良い解決方法を考えました。
利用者の痛み、戸惑い、寂しさ、喜びに、寄り添えるヘルパーを目指します。	○	様々な性格の利用者に、誠実に向き合ってきました。